「名水の里　黒部米」コシヒカリ稲作ごよみ

田植は5月15日を中心に行う!! 出穂を遅らせ高温登熟を回避しよう

土づくりで気象変動に耐えうるたくましい稲づくり!!

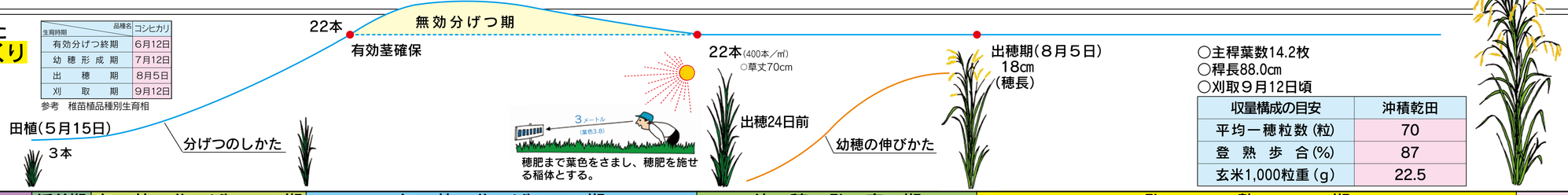
稲の一生

恵まれた自然を活かした
品質安定・良食味米づくり

高品質良食味米の目安	目標値
水　　分(%)	15.0%
整 粒 歩 合(%)	80%以上
玄米蛋白含有率(%)	6.5%

生育時期 ＼ 品種名	コシヒカリ
有効分げつ終期	6月12日
幼穂形成期	7月12日
出　穂　期	8月5日
刈　取　期	9月12日

参考　稚苗植品種別生育相



○主稈葉数14.2枚
○稈長88.0cm
○刈取9月12日頃

収量構成の目安	沖積乾田
平均一穂粒数(粒)	70
登熟歩合(%)	87
玄米1,000粒重(g)	22.5

生育：育苗期 ／ 活着期 ／ 有効分げつ期 ／ 無効分げつ期 ／ 幼穂発育期 ／ 登熟期

コシヒカリ

水管理：浅水 → やや深水 → 軽い中干し → 中干し → 間断かん水 → 飽水管理 → 絶対に水をきらさない → 落水を早めない

月日：4月 25 ／ 5月 5 10 15 20 25 ／ 6月 5 10 15 20 25 ／ 7月 5 10 15 20 25 ／ 8月 5 10 15 20 25 ／ 9月 5 10 12 15 20 25

施肥時期
- BB基肥206号
- 田植
- 早期追肥 BB基肥206号
- エスアイ加里特号
- LP追肥38号
- 出穂期
- 成熟期

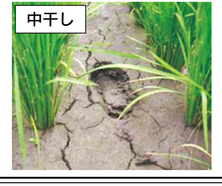
病害虫防除
- 苗箱施薬　ルーチンエキスパート箱粒剤
  - ●いもち病 ●紋枯病 ●白葉枯病
  - ●イネミズゾウムシ ●イネドロオイムシ ●ウンカ類
  - ●コブノメイガ ●フタオビコヤガ ●ツマグロヨコバイ
- 一斉草刈
- 一斉防除　いもち病・紋枯病　カメムシ・ウンカ類　ビームモンカットスタークルF粉剤5DL
- 一斉防除　カメムシ・ウンカ類　キラップ粉剤DL

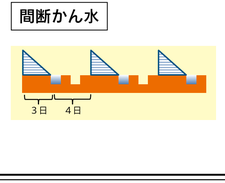
管理のポイント
- 秋耕しの徹底
- 物による土づくり
- 堆肥や土壌改良資材、緑肥作
- 調製を
- 籾水分に応じた適正な乾燥と
- 必要
- %で刈取りを開始することが
- 高温条件化では、籾黄化率80
- 胴割れ防止対策
- ★適期刈取りの実施
- ★落水を早めない
- らし酸化を防ぐ
- 水を張り続け土の中の酸素を減
- 水を3㎝程度の深さで維持
- ★出穂期から20日間は湯水管理
- を徹底する
- 斑点米カメムシ類の防除
- 強制落水する
- ②4日以上湯水状態が続くほ場では
- 短くする
- ①地域慣行の間断かん水の落水期間
- のポイント
- 飽水管理（幼穂形成期以降）
- 持
- 高温に負けないよう葉色を維
- 穂肥は慎重に
- 幼穂の確認!!
- する
- 止する為、畦畔の草刈を徹底
- ★斑点米カメムシ類の発生を防
- 間断かん水(3日湿水4日落水)
- かえる
- 中干し後は間断かん水に切り
- るくらいの硬度
- ほ場に足を入れ深さ3㎝にな
- 中干しのポイント
- の有効化や根量の低下につながる
- 中干しが不十分な場合、弱勢分げつ
- を目安に開始
- 中干しは、田植え1か月後頃
- ★中干しを徹底する
- の入水のことも考えたものを
- 溝は排水のためだけではなく、出穂後
- 早めに溝掘りを
- れかえる
- 中期除草剤の散布前に水を入
- ★分げつ促進のため浅水管理
- 落水しない
- 除草剤を散布したら7日間は
- 除草剤の散布は遅れずに!!
- 植付深さ3㎝
- 3本／株・60～70株／坪
- う!!
- ★田植えは5月15日を中心に行
- 代かき均平を十分に
- 間　代かきと田植えの間隔は3日
- 計画的な施肥を
- ★120g以下播きで健苗の育成を

除草剤
マーシェット１キロ粒剤

殺虫殺菌剤
ルーチンエキスパート箱粒剤

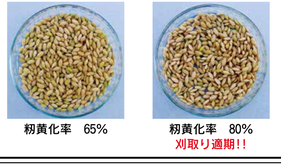
除草剤と苗箱施薬剤は間違わないように、散布前に今一度確認を!!





害虫の種類

籾黄化率による刈取り適期の目安



籾黄化率　65%　　籾黄化率　80%
刈取り適期!!